いわき民報　夕刊　昭和26年3月8日（木曜日）　第1471號

昭和24年2月23日　運輸省特別承認雑第938號
昭和21年6月1日　（第三種郵便物認可）
（1）　（休刊日　毎月一回）

原案無修正通過

平市會終る　矢吹公安委員を再選

定例平市會本會議は六日午後一時から再開、三、四の兩日行つた各部委員會の委員長から二十六年度豫算案、二十五年度追加豫算案等に就きそれ〳〵報告があり、質疑應答の後大した波亂もなく原案通り無修正で通過した、なお市では市公安委員矢吹大一郎氏の任期滿了に就き同氏の選任に就き同意を求め滿場一致で再任と決定、高水市議死去に伴う臨時出納檢査立會人は馬目市議を決定し午後四時閉會、午後六時から公會堂日本間で市會懇親會を行つた

父兄の反對壓倒的

湯本で五日制賛否世論調査

湯本小學校PTA文化委員會では五日制に就いて今回父兄生徒の第三回世論調査を各學級毎に行つた結果、父兄賛成一二一、反二八九、不明二三、生徒賛一六一、反一五、不明五四で父兄で賛成者の多い地區は炭鑛街で理由の大部分は家事手傳をして貰えると云うことである

自治署の廢止案提出

郡町村議長會から

縣下町村議長會は十四、十五兩日福島市に開催されるが本郡代表團は石城開發の諸問題について縣會に陳情する

石城開發案縣會に陳情

縣下町村議長會は十二、十三の兩日福島市に開催されるが本郡代表團は石城開發の諸問題について縣會に陳情する

小名濱町會

九日開く

小名濱町では九日午前九時から臨時町會を開き第二小學校講堂建設について現定豫算額では不足なため更に豫算の追加を協議する

安島弘氏が立候補か

山田村長選

山田村の村長候補は去月中旬から現職の呼び聲が高く協力で推せんし次の會場に出馬かたが其後の情勢が一變し現議員間に適任者が物色されていたが白羽の矢は同村の人格者德望家として村民間に異敬されている、安島弘氏（六三）に向けられ氏も躍起を總は懇していたが其總意に動かされ安島氏は敢然と出馬する空氣が濃厚となり近々中に氏の後援會を作る運びである、同安島氏の先代重三郎氏は山田村の豪農で代議士である、氏の經歴は高等師範と文理大學を卒えて山梨甲府縣立高女校長及び東京荏原高等學校長と日本体育會理事の要職につき昭和二十三年退職鄉里山田村に歸り自適生活の日を送つていた、眞の教育家とは言え一面政治經濟産業方面にも造詣深く村人の信望を一身に擔つて居る人だ

赤ちやん大會

三方部で開催

第二回全日本赤ちやん集團コンクール並に優良愛育町村表彰に就き石城地方事務所では平市部（郡含む）の優選會を次の日程で開き決定するが、該當者は昭和二十五年三月生れの乳兒中（千六十二名）健康で發育良好なもの、各町村では該當乳兒のうちから十%を醫師、助産婦、保健婦等の協力で推せんし次の會場に出場させその健康美を競うことになつている

▽十九日午前九時平市公會堂＝本間で夏井村など十七カ町村から推選される五十二名の乳兒から男女十名を決める

▽二十日午前九時から小名濱町第一小學校に江名町など六カ町村から推選された二十五名から男女五名を決める

▽二十六日午後一時から平保健所に各會場から選定された四十名の優良乳兒中から男女十名を選定し縣大會に出場させる

人形劇開く

あす婦人民主クラブ

婦人民主クラブ平地方支部では八日午後一時から社ホールに國際婦人デーを記念し「人形劇」を公演し笑いのうちに此の日を祝うことになつた

三つに分裂した料飲組合一本に

小名濱鈴木署長の調停で

小名濱町では小名濱料飲店組合と小名濱厚生飲食店組合の二つに分裂していたがこの程更に小名濱料飲店組合傘から十一名が脫退、同町内に三つの組合が出來あがる形となつたため同署鈴木署長が調停にのりだし六日午後一時同署會議室に三つの組合から二名の代表を集め一本にまとまるよう要望した所各代表が今までの行掛りを棄てて合同する事に了承し午後六時より更に業者大會を開き決定、次の役員を選任定掛け四年振りに同問題を解決した

△組合長　飯塚勝△副組合長　長瀬長壽、坂本勝三△會計　田部與一△幹事　長谷川一、大木信盛、鈴木治作、鈴木昇七、小野瀬仲夫、佐藤政治、佐川五郎男

教務主任會議

準三區教務主任會

準三區教務主任會は後務運營交互視察研究會は九日午前九時から好間二小に開催教務主任二十六名が集會し校務運營に就き協議する

猟紅熱

内郷町綴字秋山一四工作夫五十嵐秀人さん長

昨報＝植田地區同町の兩署では去る五日の植田土木監督所押掛け事件の主謀者と見られる山田村上山田字林越二同村自由勞組松野弘（三二）同村小山田字大谷七〇松本ツヤ（四二）同自由勞組副組合長岡部正三（三六）同村上山田字前原一岡脇内次郎（一七）同村上山田字林越二小川嘉吉（三〇）同字二植田信之（二四）同村小山田字關澤七一高橋進（二〇）同村上山田字林越二一菊地發夫（二二）同村上山田字部原關口秀夫（三〇）同村大谷字荒谷二一蛭田利男（二〇）＝何れも山田村羽山和（二四）は去月二十一日午後二時ごろ磐崎村下湯長谷字岩崎小泉自轉車店前で同村小

濱の話

（小名濱と四倉の思い出）

（上）

吉屋貞一

山の景色は冬が一番見ごたえがある。然し雪に覆われたものは、趣きが淺くなるからその山岳の性根ともいうべき僞らぬ肌を露出した裸落葉木の姿にこそ、自然の巧みからなる澁きせぬ息吹が立ちのぼるのを感ずる。眞に山の美にあこがれる者は、そこまでたどり着いて欲しい。もちろん山高きをもつて貴しとせず また險しきをもつて喜びとしない。海の眺めも冬が尤も優れていると思う。夏は俗調しきりに鬱く等と仙人ふるわけもなく『春の海ひねもすのたりのたりかな』の味も忘れないけれども、山も海も四季それぞれの特色がある中で、風景の極致は冬に現われるものであろう

英米は約八十年前から太平洋の研究を始め、日本は漸く四十年ばかり前から沿海漁場の測量と水族の調査を行つて水産局の雲鷹丸が北太平洋に出かけている。磐城の七濱も今後は講和のあとに來る新時代に添つて再建活動を用意してもらいたい。私は若い頃から海が好きであつたが、今回縣立公園に指定された勿來の濱は、ときたま見舞つたもので大分と昔の濱の物語りになるが、その頃に平の仕吉屋旅館で宿屋を松林の中に設計したという噂を聞いたのみで實現せず今も相變らずの姿ながら汽車で旅する時は此景を窓から觀賞する事は忘つていない、小名濱は朝日新聞の特派員横田さんと同道して行つたように記憶している。一段拔きで本棚（當時は地方版なし）に小名濱商港の必要性を力說して天下に、この港を紹介したわけである

野崎町長は溫厚な人柄らしい。晝の先に玉の汗を浮べて試驗場長の中平さんは熱心な人で民間との折り合いも善く私も懇親の間柄なので、いろいろと將來の水産に就いて語つた。試驗場特製の鹽辛もあつてカッオの鹽辛は評判で土產品として奬れたらしい。まだ防波堤も築かれず青い波と白い砂は大自然の調和を誇さずにいた

牡丹という半玉が居たが、全く白牡丹のようにお白粉を塗りたくつていたのでおかしかつた。私が初秋のある日に濱邊を散步しながら行きつもどりつして船べりに腰をおろすと遙か向に若い男女らしい影が目に寫つた。晴れ渡つた空を仰ぐと赤トンボが忙しそうに組みつつほぐれつ群れ飛んで、空の色を染め出すほどに華麗な一羣を演じていた『東海の小島の磯の白砂に…』というたく水ほどの歌すもないから腕を組んでただ見守つていた

小名濱はその頃は湯本から磐城炭礦のトロッコに便乘して交通していた。醫屋崎の燈台は四倉の燈から遠望しただけであつたが、一昨年の夏に燈台物語を書くため、始めて登つて見て上から眺めた磯の有樣も見ることなどできまさに總大然色フイルムであつた四倉といえば吉田彌十郎さんなど筋骨たくましく、仕事も積極的な漁業家のように覺えている。あそこのウニの鹽辛もうまく、その後はイカとウニを合せた鹽辛が賞り出されたけれど、これは別に分けた製品が好ましい。近頃は江名や醫間はもちろん各濱からウニの貝殼が名物になつているのは結構であるが品質の變化性（當）を盜んだ疑いで五日平市署に檢擧された、なお同人らは十日前に窃盜容疑で取調べをうけ現在保護中である

洋服地盜む

二人組擧る

平市研町四前科二犯無職三村忠雄（二一）同六間門二〇加藤科二犯電氣工夫北島嘉治（二三）の兩名は共謀の上四日夜平市研町入洋服仕立業佐藤勝太郎（三七）さん方から洋服生地など九點（二万二千円相當）を盜んだ疑いで五日平市署に檢擧された、なお同人らは十日前に窃盜容疑で取調べをうけ現在保護中である

取除かれる五噸走行式グレーン

五噸グレーン撤去

縣の指令・月末迄に

小名濱港務所では縣からの指令により去る九日小名濱港灣運送會社に對し「五トン走行式グレーン軌條（レール）を三月一杯に撤去するように」と文書を以つて通達した縣からの指令によると縣の荷役施設が七月までに完成するため四月からその基礎工事に着手しなければならないため三月一杯に小名濱港灣運送の五トン走行式グレーンの軌條（六十五米）を撤去して貰いたいと云うにありこのため今迄同港灣運送會社で使用していたグレーンは固定式になつわけ

港灣會社異議申立か

これに對し小名濱港灣運送株式會社では西丸社長を始め全然この指令に同意するかどうか言明するのを避けているが「今度の指令は港灣法に違反するのではないかとも見られている

橋型起重機設置へ

基礎工事に着手の爲

今度の指令は縣がかねて三千万円を投じ愛宕縣有居濱市四ツ倉町に設置する國機械工業（舊住友）に發注中だつた橋型水平引込起重機一臺は一時間石炭で約二百トンの荷役能力があり順調に行くと今まで二三日以上かかつていた五百トン級貨物船が僅か八時間の稼働で濟に三隻の荷役が一擧に出來るわけでようやく商港としての施設が一應出來ることになつたわけだと港務所では云つている

一方小名濱港灣運送會社の五トン走行式グレーンの軌條は延長一百十八米の埠頭中、同會社の倉庫六十米を除いた實際に使用可能な岸壁の三分の一を占めているためこの軌條を取除く事は同會社の致命傷でもあり今後の出方が注目されている

成人講座

小名濱で開く

小名濱町社會教育委員會では七日午後六時から第一小學校講堂・第三回成人講座を開いた講師は小名濱海上保安部長遠山武夫氏で演題は『飛躍の話』

教育振興打合會開く

平市内小中學校教育振興打合會は五日午後一時半から一小校長室に開催カリキュラムの作成並に施設、原色敎育として講習會、講演會、敎科研究會等に就き研究討議した後敎育振興委員として校長代表小に開催する

成人講座

小名濱町社會教育委員會では七日午後六時から第一小學校講堂に於て第三回成人講座を開いた講師は小名濱海上保安部長遠山武夫氏で演題は『飛躍の話』

經營の合理的能率化

常磐炭田の管理者訓練

平石炭事務所では先に企業中であつた炭鑛經營者に對する管理者訓練を五日から十日間常磐炭礦湯本礦業所に於て第一期として申込み者三十名中十七名を選拔し、講師に日本石炭鑛業連盟總務課長廣瀨俊雄氏を招聘毎日午後一時から四時間づゝ向う四十時間に亘つて經營管理の合理的能率化を計るため訓練講習している

運靑發會式

十日午後一時から

平市連合靑年會結成式は十日午後一時から一小講堂に擧行する筈式終了後東部、西部、中央、鐵北代表五十名が集り評議委員會を開催する

季節分校昇格

川前村の敎育刷新

郡内のトップを切つて一月から三月まで季節分校を設けた川前村川前字柿本平所在山下谷季節分校は四月一日から川前小學校の分校に昇格發足することになつた

職員一名生徒二十八名で永續して授業が開始されるので生徒達の喜びと期待は大きい

消防團員の指紋採取

内郷町で實施

内郷町では全國的に行われている指紋採取に同調して四日平市内小中學校敎育振興打合會は五日午後一時半から一小校長室に開催カリキュラムの作成並に施設、原色敎育として講習會、講演會、敎科研究會等に就き研究討議した後敎育振興委員として校長代表小に開催する

社會敎育

湯本町で九日協議

湯本町社會敎育委員會は五日午後一時から役場會議室に開催二十六年度公民館經營計畫に就き協議した結果、七十万円の枠内で運營することになり九日午後一時から運營審議會を開催することになつた

罰金未納に斷

三百件に收監狀か

平檢察廳では三月中に昨年度分の罰金未納三百件、約百六十万円を一擧に取る事になつたが合は總て三月中に納めなかつた場合は總て三月中に收監狀を發し即に檢事が各警察署に出張一齊役場、留置場分の陳頭指揮を行うことになつた

不良少年逃亡

湯本町淺見佐々木勇治（一八）同五郎（一八）は昭北少年院に收容中だつたが六日朝時ころ鐵格子を鋸で切斷し逃亡し指名手配された

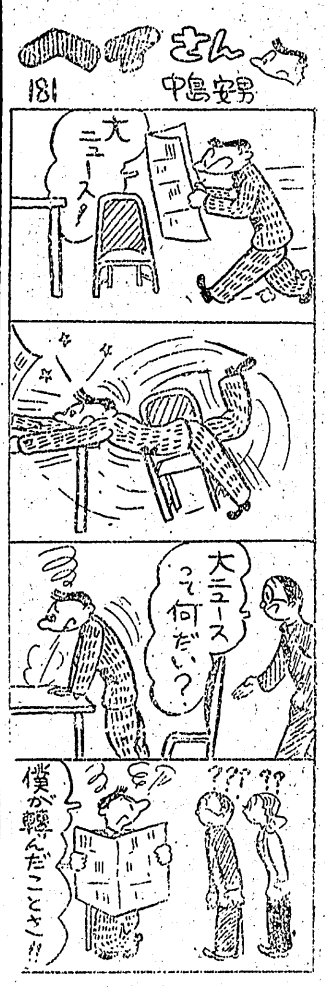
おさらい

小唄の會盛況

第一回小唄春藤會演習會は四日正午より平市田町花柳舞踊研究所で開き小唄春日藤竹節振付花柳奇代鶯師で小唄三千歳ほか三十番、小唄振り夜優など四曲あり盛會だつた

神罰

豐間町合成無職佐藤一（二六）同町磐拾葉大石清治（二四）の兩名は去月二十八日同町沼之内辨財天祠の橋の欄干にある擬寶珠四箇を更に高久村地内八坂神社の赤銅製鎗二つ、江名町敢訪神社境内に奉納されていた大砲の類きよう二本等七円相當を盜み四日平地區署に捕まつた



金成醫院
平市大町
電五三〇

學入御祝
入學用品なら
なんでも揃う
前驛平
壽百貨店
電656

整形外科
內科
金成醫院
金成桂一
平市鎌田町二二電八二六番

ウマイと評判
カキフライ　ナミキドウリ
フライ　ブッシル

學生用机
本箱　本立
御婚禮用家具一式
ゼヒ一度御來店御覽下さい
ぶるが
平銀座　電223

お尻のむず〳〵はギヨウ虫がいるからです
簡單にとれる方法があります
丁事中ですが營業してます
あとう
平市銀座通電四四

內科
小兒科
三井醫院
平市仲田町六九
三井五郎
電六一五

記念品なら
ア 新しい美しい「置時計」
イ 色とりどり「電氣スタンド」
ウ 歌も樂しや「蓄音器」
エ 笑顏で使う「万年筆」
オ 贈物好適「柯箱入「アイロン」
★御名入サービス致します★
平の金光堂
五丁目　電195

入院の設備あり
石城郡上遠野村
上遠野村
診療所
所長　梅田敏也
久保田㊞
目＝◇外科
科＝◇整形外科
＝◇産婦人科
療＝◇內科
診＝◇皮膚泌尿器科
◇レントゲン科

JOCP ラジオ JOHQ【8日】ローカル　送放山郡

後六・三〇平若松通信第七二部福島民報平支社長金子公